

「分子病態セミナー」を開催

2019年5月9日

5月9日（木）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野 教授 油谷浩幸 先生をお招きして、分子病態セミナーを開催しました。

セミナーでは、「肝腫瘍と Wnt シグナル」という演題で、エピゲノムの網羅的解析による新たな beta-catenin 活性化機序などについて講演していただきました。今後の研究の方向性の指標となる、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等 46 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



肝腫瘍とWntシグナル

東京大学先端科学技術研究センター
ゲノムサイエンス分野

教授

油谷 浩幸 先生

日時：令和元年5月9日（木）
17：00～18：30

場所：がん進展制御研究所 4F会議室

肝細胞がんや大腸がんにおいてはCTNNB1やAPC遺伝子変異によってWntシグナルの活性化が生じており、幹細胞マーカーとしてのLGR5の高発現をもたらしている。新たに同定した β カテニン標的遺伝子の転写制御に関わるlncRNAをWntシグナルの新たな制御レイヤーとして議論したい。